

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	戦傷病者等援護事業	所管	保健福祉部 福祉総務課
			TEL 2998-9113

事業の目的 (何の為に 行うか)	軍人軍属であった者の公務上の傷病に関し、国家補償の精神に基づき、援護を行なう。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	戦傷病者手帳の交付を受けていて、本市に住所を有する者、 戦傷病者等の妻に対する特別給付金申請受付	対象とした数	139	人
		実際に 利用した数	23	人

活動の内容	(何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦傷病者手帳の交付・返還受付</li> <li>・補装具の支給・修理の申請受付</li> <li>・戦傷病者等の妻に対する特別給付金申請受付事務(H18.10.1受付開始)</li> </ul>								
		活動実績	項目名	申請受付者数	2	項目名	援護利用者数	0	項目名	特別給付金申請者数
			-----	単位 人		-----	単位 人		-----	単位 人

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	74	2	3,854	11.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	申請受付・交付率	援護利用者数 ÷ 申請者数	100	100	100.0
			-----	-----	-----
			単位	単位	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 [ ]				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	現状どおり	増額	* 減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 [ ]	終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了			

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040100	TEL	2998-9113
事業コード	戦傷病者等援護事業					
040101	保健福祉部 福祉総務課					
開始年度		昭和 39 年度	—	終了年度	平成 年度	
グループ		総務・民生委員担当				

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令
	分野別計画・指針				戦傷病者特別援護法第3条2項
	関連・類似事業				
	総体計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	中柱
					小柱
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 *** 位		・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	事務事業見直しの推進			コード
	3261				
	事業開始の背景	軍人軍属等であった者が公務上の傷病に関し、現に恩給法で定める一定以上の障害を有する場合に、県が戦傷病者手帳の交付を行い、国家補償の精神に基づき各種の援護を行なうこととなった。そのうち主に、知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例で市町村が処理すると規定されている事務を行っている			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	軍人軍属であった者の公務上の傷病に関し、国家補償の精神に基づき、援護を行なう。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方					
	戦傷病者手帳の交付を受けていて、本市に住所を有する者、戦傷病者等の妻に対する特別給付金申請受付			事業内容の受付者数、交付者数					
	対象数	単位	平成 18 年度	41	人	利用数	単位	平成 18 年度	4
		平成 19 年度	139	人			平成 19 年度	23	人
	事業の具体的な内容及び実施方法								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦傷病者手帳の交付・返還受付</li> <li>補装具の支給・修理の申請受付</li> <li>戦傷病者等の妻に対する特別給付金申請受付事務(H18.10.1受付開始)</li> </ul>								

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			
	特になし			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		97	74	71	
	決算 (見込み含む)		4	2		
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 ) ( 人 ) ( 0.10 人 )				
	正規職員人件費		0.14 人	1,288	0.41 人	3,852
	公債費					
	事業費合計		1,292	3,854		
	財源内訳	一般財源	1,292	3,854	71	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		3.8	11.4		
	利用数一単位あたり(単位:円)		323,000.0	167,545.2		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	申請受付者数	計算方法	単位	人	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	4		人	4	2	2	2	2
		2		人	4	0	2	2	2
		49		人	0	21	30	49	49
	成果分析	申請受付・交付率	援護利用者数 ÷ 申請者数		目標値	100	100		
				実績	100	100		実績値の拡大を図る1	
				%	達成率	100.0	100.0		実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	戦傷病者手帳に関する事務は国家補償の精神に基づいて行っているものであり、条例で市が処理することが定められているため、市以外では実施できない事務であり、なおかつ対象者の負担を考へるほどの内容ではないため、特に事務の改善は必要ないと考へる。また、17年度から戦傷病者乗車券引換証の交付事務が県で行なわれるようになったため予算執行も減少となっている。現在は県への進達業務のみとなっている。						
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)				
	平成20年度における目標設定	戦傷病者等の妻に対する特別給付金申請受付事務	受給権利者への早期周知、迅速な受付処理	年度末			
	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )					
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例で、市町村が処理すると規定されている事務のため、引き続き実施していく必要がある。					
	評価日	H20.5.2	記入者職氏名	福祉総務課長 中村 俊明			

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由							
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	施策の体系			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			